



びーらぶ秋田とは…

平成 21 年に任意団体として発足し、暴力被害を受けた女性と子どもたちに「びーらぶプログラム」(以下 P)を提供しています。また、継続して繋がることの大切さを感じ、Pに参加した母子を対象に、集いの場として『お楽しみ会』を企画・開催しています。その他にも、保育所の子どもたちを対象に、人権教育として子ども向け P を、支援者を対象に支援者 P を行っております。平成 30 年度からは、広く地域の方々を対象に、啓蒙活動として「支援者養成講座基礎講座」も開催しています。

地域版プログラムの実施

今年度は、コロナ禍の影響により 5 月から開催予定していた母子同時並行プログラム(5 回版)の実施が困難になりました。しかし緊急事態宣言の中、DV や虐待増加といったニュースを目の当たりにし、1 回版だけでも開催したいという想いを強くしました。そこで、6 月 21 日(日)の午前中、秋田市センタースにおいて、地域版 P を実施しました。

地域版プログラムは、暴力被害を受けた人だけでなく、親子、友だち、夫婦など、暴力によらないコミュニケーションを学ぶプログラムです。

プログラムについて

米国オレゴン州で使用されたプログラムを、東京の NPO 法人女性ネット Saya-Saya が翻訳し日本版として作りかえた心理教育プログラムです。子ども向けと母親向けがあり、同時並行で学ぶことで効果を高めています。



母親プログラムの様子

参加者・実施者の感想

*参加できる日を楽しみにしていました。新しい気づきに出会うことができました。すごく温かい気持ちになりました。また参加したいです。

*昨年も参加しましたが、改めて自分を肯定すること、相手を支配したり、評価しないことの大切さを感じました。

*とても穏やかな気持ちになりました。1 回の開催で寂しいですが、ワークで得た学びを大切にしたいと思います。ありがとうございました。

通信の発行

びーらぶ秋田も、コロナウイルス感染予防のため、なかなか集まって活動することができない状態が続いております。そこで、活動について知ってもらう方法として、「びーらぶ秋田通信」を発行することとなりました。不定期ではありますが、お知らせや活動内容をお伝えしていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。